

# 郷中だより

令和 2 年 4 月 13 日  
倉敷市立郷内中学校長発行  
学校だより 第 1 号

桜花爛漫の 4 月 7 日に学校が再開し、10 日の入学式で 55 名の新入生を迎え、全校生徒 199 名がそろい令和 2 年度がスタートしました。

保護者の皆さまには、休校中、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、家庭での過ごし方や登校に向けてのご配慮、手作りマスク等のご協力をありがとうございました。学校でも 3 つの密（密閉・密集・密接）が重ならない環境での活動を行い、手洗いやマスク着用を指導していきますので、引き続きご協力をお願いいたします。

## 新しい先生方の紹介

このたびの異動により、8 名の先生方が着任いたしました。よろしくお願いいたします。

氏名	職名	教科	前任校
	教頭	保体	岡山市立竜操中学校
	教諭	社会	倉敷市立連島中学校
	教諭	数学	倉敷市立福田中学校
	教諭	音楽	倉敷市立東中学校
	講師	保体	倉敷市立福田中学校
	講師	英語	
	養護助教諭		倉敷市立本荘小学校
	嘱託調理員		倉敷市立琴浦東小学校



始業式は体育館で、十分な換気と前後左右の広い間隔をとり、「3密」を避けて行いました。

令和 2 年度、郷内中生として力を入れてほしい次の 2 つのことを話しました。

### ① 人の話を目と心で聴こう

人の話を聴いている時、話している人がいったい何を言いたいのか、そして、どのような気持ちからその話をしたのだろう、ということを考える習慣をつけてほしいのです。理由は、このことを繰り返していくうちに、不思議ですが相手と自分の心の距離が縮まっていくのがわかるからです。

### ② 人の良いところを見て、それを相手に伝えよう

自分も他の人もそれぞれに個性があり、考えていることも、得意なこともそれぞれにちがっています。ちがっているから、世の中にたくさんの職業があり、生活が成り立っているのです。同じように、郷内中の生徒や先生たちがみんなちがった良い面があるから、助け合うことができるのです。このことは、頭ではわかっていますが、日常で実感できるシーンが少ないのが現実です。そこで、自分が相手の言動で助けられたり、勇気づけられたりしたことを「ありがとう」という気持ちとともに、相手に伝えてほしいのです。今よりももっと一人一人の存在感が大きく感じられるからです。

(裏面に続く)





## 新入生の皆さん ようこそ郷内中学校へ

4月10日、55名の新生を迎えました。新生代表の誓いの言葉では、「何事にも挑戦する気持ちを忘れず、楽しみながら取り組んでいきたい」と力強く、また、在校生代表の歓迎の言葉では、「中学校は、勉強や部活動など、頑張った分、喜びや達成感が得られるところ」という温かく前向きに述べられました。



式辞では、本校の信条である「自主・根気・協力」から、  
①「自分から進んで行動する」②「物事に根気よく丁寧に取り組むこと」③「つながりを大切にすること」について話をしました。

郷内の地域は、たくさんの地域行事が受け継がれており、「人と人との絆」を大切にされています。そんな温かい地域で育っていることに誇りをもち、何事にも失敗を恐れず挑戦し、人や物事に丁寧に向き合っていく姿勢を大切に3年間、充実した生活を送ってほしいと願っています。

### 保護者の皆さまへ



#### ◎「男女混合名簿」使用について

昨年度まで本校で使用していた名簿では、男女別の出席番号でしたが、今年度からは、男女の別なく出席番号順の名簿を使用します。また、教室での座席、行事や集会等での並び方においても、男女の区別を必要としない場合は、男女混合の列で活動します。

#### ◎今年度の各学年及び学校行事について

今年度の学校行事につきましては、安全・安心確保のため、大幅な見直しが必要になっております。新型コロナウイルス感染拡大等の動向を見ながら、行事の変更や延期について、eこねっとや学年だより、郷中だより等でもお知らせしていきます。

3年生の保護者の皆さまには、春休み中の急な「修学旅行アンケート」に、すべてのご家庭からご回答をいただきましたことに、心から感謝いたします。